

第 32 回（通算 150 回）全経簿記検定試験 上級出題予想

商業簿記・会計学

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記		決算三勘定	連結会計	損益計算書
会 計 学	第 1 問	正誤問題	正誤問題	正誤問題
	第 2 問	理論(実現主義と取得原価主義)	理論(外貨換算会計)	理論(包括主義と当期業績主義における損益計算書の区分)
	第 3 問	キャッシュ・フロー計算書	棚卸資産(切放法と洗替法)	退職給付会計

なぜこう予想したのか

〔商業簿記〕

第 1 予想は決算三勘定をあげました。ほぼ例年決算三勘定の出題実績があることから十分な対策をしておくことが必要です。頻出論点である現金預金、商品の評価、有価証券、固定資産、リース、外貨、税効果、新株予約権付社債は確実に押さえておきたいところです。

第 2 予想には連結会計をあげました。連結会計での税効果の処理を確認しておきましょう。

連結会計の場合には、精算表の作成問題が考えられます。第 3 予想には損益計算書をあげました。最近出題のない特殊商品売買について確認しておきましょう

〔会計学〕

会計学の第 1 問は例年どおり正誤問題としました。

第 2 問は最近の出題傾向から理論問題を想定しました。前回、前々回と基本的な理論問題が出題されたことから、第 1 予想に実現主義と取得原価主義をあげました。第 2 予想の外貨換算会計は各換算方法を確認しておきましょう。在外子会社も要注意です。第 3 予想は損益計算書の区分です。会社法の影響により、損益計算書の末尾の変更が予定されていることから第 3 予想にあげました。各段階における計算の意味や当期業績主義や包括主義といった論点を確認しておきましょう。

第 3 問は計算問題での出題を想定し、第 1 予想にキャッシュ・フロー計算書をあげました。141 回、144 回と出題されていますので、そろそろ出るのではないかと思います。第 2 予想は、棚卸資産です。切放法と洗替法を統一する動きがあることからトピックな話題として第 2 予想にあげました。

そして、第 3 予想は退職給付会計をあげました。第 143 回に理論問題が出題されましたので、計算問題を確認しておきましょう。

第 32 回（第 150 回）全経簿記検定試験 上級出題予想

工業簿記・原価計算

科 目	第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
工業簿記	工程別総合原価計算	部門別個別原価計算	組別総合原価計算
原価計算	業務執行意思決定 +品質原価計算	CVP分析 +直接原価計算	設備投資意思決定

なぜこう予想したのか

〔第 1 予想〕

工業簿記は工程別総合原価計算、原価計算は業務意思決定+品質原価計算としました。

工程別総合原価計算は、高い頻度で出題されていること、論点的には出題の余地は十分考えられることから第 1 予想としました。なお、連産品、副産物については注意が必要でしょう。業務執行意思決定+品質原価計算は、最近の出題傾向として個別問題形式での出題があること、前回活動基準原価計算が出題されていることから第一予想としました。

〔第 2 予想〕

工業簿記は部門別個別原価計算、原価計算はCVP分析+直接原価計算としました。

部門別個別原価計算は、高い頻度での出題実績があること、出題のサイクルという観点から第 2 予想としました。CVP分析+直接原価計算は、最近ではCVP分析は頻繁に出題されており、様々な視点から問われていますので、大問形式でも小問形式で問われる可能性が高いという点、直接原価計算は、固定費調整といった独特の論点の出題が近年あまりないという点と論点の重要性から第 2 予想としました。

〔第 3 予想〕

工業簿記は組別総合原価計算、原価計算は設備投資意思決定としました。

組別総合原価計算は、近年出題されていませんが、最近等級別計算が出題されていることと論点の重要性から第 3 予想としました。設備投資意思決定は、資本コストおよびキャッシュ・フローの考え方の重要性は依然として高く、大問での出題が最近ないことから第 3 予想としました。

出題予想に関連する過去の本試験問題

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記		決算三勘定 149回、146回、 143回	連結会計 146回、140回	損益計算書 147回
会 計 学	第 1 問	正誤問題	正誤問題	正誤問題
	第 2 問	理論(実現主義と取得 原価主義) 137回、131回	理論(外貨換算会計) 過去に出題なし	理論(包括主義と当期業 績主義における損益計算 書の区分) 過去に出題 なし
	第 3 問	キャッシュ・フロー 計算書 144回、141回、 135回	棚卸資産(切放法と洗替 法) 過去に出題なし	退職給付会計 143回、日商 110回会計 学

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
工業簿記		工程別総合原価計算 144回、143回、 138回、	部門別個別原価計算 146回、141回、137回	組別総合原価計算 134回
原価計算		業務執行意思決定 143回 +品質原価計算 過去に出題なし	CVP分析 +直接原価計算 146回、135回、131回	設備投資意思決定 141回、140回、132回

本試験に出題される論点が内容・形式ともに過去の問題と一致するとは限りませんが、関連する問題を解くことにより、本試験で慌てることは少なくなると思います。

また、解く際には、より最近の問題から解くようにして出題傾向を把握するようにしてください。会計学の正誤問題は特に回数を指定していませんが、過去の問題を見ておきましょう。

過去に未出題のものについては、日商簿記用のテキストや過去問題等を参考にしてください。